

台風に備えて



- テレビやラジオの台風情報に注意する
- 下水や側溝の水はけをよくする
- アンテナはしっかりと固定する
- たれさがっている電線にはさわらない
- 非常に場合の避難場所や道順を確認しておく

広報あしや

昭和54年

9月5日 第406号

発行所 芦屋市精道町7-6 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集 公聴広報課 毎月1回5日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可(定価2円)

芦屋市の人口と面積

—54年8月1日推計人口—

人口総数 78,051 世帯数 24,607
男 37,515
女 40,536 面積 17.31km²
市役所の電話 31局2121番

教育委員長 に林利市氏

芦屋市教育委員会で
は、教育委員会の
初の委員会

林利市氏は、昭和二十六年から
芦屋市役所で役職を歴任し、昭和
三十五年から五十二年まで助役を
務めました。任期は一年です。
林利市氏は、昭和二十六年から
芦屋市役所で役職を歴任し、昭和
三十五年から五十二年まで助役を
務めました。任期は一年です。



10月1日

地域を一つの防災システムで：

シーサイドタウンには現在五十
二棟（三千三百八十一戸）の住宅

が建っており、すでに四十パーセント以上が入居済みとなっています。

さらに今後は中・低層地区に二千三百余りの住宅が建設される予定ですが、このように集合住宅が高層化し、過密化してくれれば特に防災の面を強化しなければなりません。

シーサイドタウンでは防災システムを一本化し、火災の早期発見と確実な通報が得られるよう配慮されています。消防についてはよく「五分消防・三分救急」のことばで表現されています。よ

うに、消防隊の活動は迅速性・機敏

によってサイレンが鳴り、居住者に知らせると同時に監視センターに報告されます。もちろん火災の出動や救急の出動の要請を「一一九番」でされてもよいわけで、この場合は消防本部の指令装置に受信され、各署所に同時に指令されますので、かつて出動が遅れるようなことはありません。高層住宅ビルの消防活動は、五階ごとに設けられた空

ホース等が常備されています。火災発生の際エレベーターは消防隊が使用する消火栓や切り替えられ、同時にその棟の他のエレベーターは安全に停止しま

す。居住者が避難する場合は、通

ととともにポンプ車一台（仮配置）と救急車一台を配置して発足します。また、今年中には三十五メートルで、ここには分署長以下職員総勢十五名五百リットル入りの水そう付ポンプ車一台を配置する予定です。分署の守備範囲はシーサイドタウン六町を中心南宮町、大東町および浜町の一部を含む一・六一七平方キロメートルですが、もちろん災害の規模によっては本署を基に全市域出動態勢がとられます。

本年二月に建物が完成して以来職員養成など、いろいろの準備を進めていました。「高浜分署」が十月一日から正式に開署するようになりました。所在地は、高浜町七番二号シーサイドタウン内で、高層住宅ゾーンのほぼ中央部にあります。分署の建築面積は四百五十五平方メートルで、ここには分署長以下職員総勢十五名とともにポンプ車一台（仮配置）と救急車一台を配置して発足します。

とともにポンプ車一台（仮配置）と救急車一台を配置して発足します。

とともにポンプ車一台（仮配置）と救急車一台を配置して発

